



身近な自然の観察・記録活動 石神井川緑道版

2023.1.27

一人ひとりの自主活動 だれでも参加できます

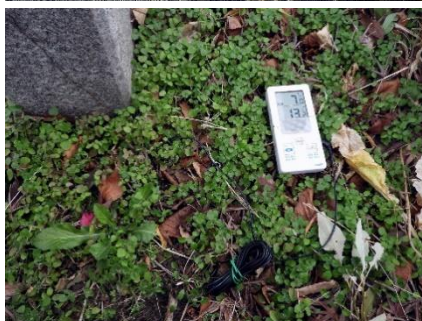
活動：月2回(第二木曜日・第四金曜日)(雨天は小雨でも中止)
コース：帝京大学付属病院北詰・御成橋たもと → 金沢橋
問合せ・連絡先：090-8646-9757 木村松夫 com-matchan@hotmail.co.jp

2023年2月の石神井川観察は、2/9(木)、2/24(金)

9:30JR 社宅前街路の観察 10:00 帝京大学病院北側の御成橋たもとから再出発

9:30JR 社宅前歩道 4.3℃ → 11:21 加賀橋 6.8℃

★★でも、野草の有無によって微妙に異なる地表温度★★



1/27の石神井川緑道観察。気温は、9:30の第1エリア(JR社宅前)スタート時で4.3℃でしたが、第2エリア(帝京大学病院前)になると10:00時点3.5℃と低くなりました。第1エリアは草の上なのに対して、第2エリアは歩道改修によって全面的に草刈りが行われた露地の上(2枚目の写真の○マークが温度計)。つまり、地面に草が生えている方が地表近くの温度は暖かいということです。

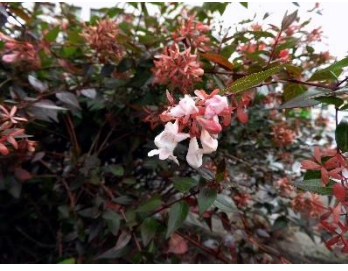
ちなみに、第3エリア(緑橋)は10:40時点で7.0℃、第4エリア(加賀橋)は11:21時点で6.8℃でした。気温は正午に向かって少しずつ高くなっていくものですが、ここでは前のエリアよりも低くなっています。第3エリアは一面にフラサバソウの葉が広がっているのに対して、第4エリアはサクラの木の根の上という温度計のセンサーを置く場所の違いによるのだと思います。ここでも、草の上の方が地表温度は高いということが分かります。

周囲の環境なども考慮に入れてもっと正確に測定しないと科学的な検証にはならないのですが、地面に草が生えているか否かは大事なことです。「雑草」だって、環境に良い効果をもたらす役割を果たしているのです。

こっちの方がよい→



1/27 厳寒の緑道で咲いていた花



左から 1段目=アベリア、イヌムギ、カモジグサ、オオアレチノギク、2段目=オキザリス（黄花）オキザリス（赤花=初観察）、オキザリス（白花）、スイセン、3段目=サザンカ、ヒイラギナンテン、ソシンロウバイ、ホトケノザ（閉鎖化）、4段目=ミチタネツケバナ、チチコグサモドキ、ノゲシ、スズメノカタビラ、5段目=キュウリグサ、ヤブタバコ、ほか1種、計19種（野草は10種）。エノコログサとハキダメギクは草刈りで刈り取られて観察できず。でも、ハキダメギクは金沢小正門前の植え込みできれいに咲いていました（写真左）。